

1

特集

埼玉大生の感性を県政に活かす! 知事と埼玉大学生の 意見交換会を開催

Vol. 30
February
2022



▲大野元裕知事



▲発表する学生達



▲挨拶する坂井貴文学長

11月4日(木)、埼玉大生が埼玉県知事へ政策を提言する「知事と埼玉大学学生の意見交換会」が開催されました。若者の感性を県政に活かす、学生には生きた学習の場を提供することを目的に2010年に始まったこの意見交換会は、今回で12回目を迎えます。過去には「Instagramを活用し、学生がPR大使となって県産農産物の魅力を発信」「ドライバーの歩行者優先意識を醸成する、感謝メッセージ型反射式電柱幕『止まってくれて ありがとう』」など7つの政策が実現しています。

今回の意見交換会には経済学部や工学部の5つのゼミが参加。「ヤングケアラー支援の輪」と題した政策提言を行った経済学部の大津唯准教授ゼミは、県が行っているオンラインサロンにおいて埼玉大生が学習支援を行うことや、必要な支援が分かるIDカードの発行を提案し、大野元裕知事より実現に向けて強い関心が寄せられました。

知事は今回の意見交換会について「有意義な時間でした。今回は知事という立場ではなく、皆さんの意見に対する阻害要因を考えず、ある意味傍観者として皆さんの意見をストレートに聞かせてもらい、大変刺激を受けました。これはこう活用したら良いということでヒントをもらったり、今回の提案の中には、これで終わりにせず実現に向けて今後相談しながら進めていきたいものもありました。」と感想を述べ、学生の発表を評価しました。埼玉大生の提言が今後の埼玉県政にどう活かされるか期待されます。

| | |
|---------------------|---|
| 経済学部 金井郁教授ゼミ | 時代の先をゆく! 明日をリードするためにアスリート雇用という選択肢を! ～アスリート雇用を増やすためにアスサポにできること～ |
| 工学部 久保田尚教授、小嶋文准教授ゼミ | 訪れよう! 生まれかわった埼玉県庁 |
| 経済学部 江口幸治准教授ゼミ | その悩み、1人で抱えないで ～ストーカーは早期相談! ～ |
| 経済学部 齋藤友之教授ゼミ | 消防団: 3 step-D プロジェクト |
| 経済学部 大津唯准教授ゼミ | 皆で広げようヤングケアラー支援の輪 |

2 教育 令和3年度10月期学生表彰を挙行 —優れた学術研究・課外活動の成果を称えて—

10月6日(水)、令和3年度10月期学生表彰式を開催しました。
この表彰は、学術研究等の成果が優れている学生、課外活動の成果が特に顕著である学生、社会活動において優れた評価を受けた学生、その他表彰に値すると認められた学生を表彰する制度です。今回は個人表彰9名および団体表彰1団体に対して坂井学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。

坂井学長(前列中央)と受賞者ら▶



3 教育 埼玉大生がサポート! 小学校で産学官連携によるSDGs教室を開催しました

11月25日(木)、さいたま市、埼玉大学およびリコージャパン株式会社と締結した「SDGs環境教育の推進に関する覚書」に基づき、さいたま市立指扇北小学校の5年生向けにSDGs教室を開催しました。まず、リコージャパン株式会社埼玉支社の小林氏が講師となりSDGsについて講義が行われ、その後、プラスチック削減に貢献する活動として、「木のストーリー」づくりを行いました。

埼玉大生は講義で使用する資料を、児童がSDGsを自分のこととして考えられるように改良したほか、木のストーリーづくりでは、全員が完成できるよう丁寧にサポートを行いました。

同席した国際開発教育研究センター 飯島聡教授は、「SDGsを広めていくにはどうしたら良いかを、今回の経験を基に考え、フィードバックしてもらいたい」と学生たちへエールを送りました。始まったばかりのこの取組を、より一層の環境学習向上につなげるため、埼玉大生の今後の活躍が期待されます。



▲授業の様子



▲参加した6名の埼玉大生

4 研究 令和3年度学長表彰表彰式を開催しました

11月5日(金)、令和3年度学長表彰表彰式を開催しました。学長表彰は、職務に顕著な功績があった教職員や社会的な功績があった教職員を表彰する、平成29年度に創設した制度です。このたびの表彰では、教育・研究活動に顕著な功績があった教員に「学長奨励賞(研究)」が授与されました。

式では、坂井学長から各受賞者に対し、表彰状および副賞が授与されました。坂井学長は挨拶で、研究分野における各受賞者の功績を称えた後、基礎的な研究の重要性やその知見を社会に還元することの大切さに触れ、「今後も研究をより一層頑張っていたください」と激励しました。続いて、受賞者を代表して睦好宏史客員教授が挨拶を行い、首都高速道路株式会社との共同研究や理工学研究科在職時の話を織り交ぜながら、これまで研究を支えてくれた多くの方々への感謝の意を述べ、「今回の受賞を励みに、より一層精進して参りたい」と、決意を新たにしました。

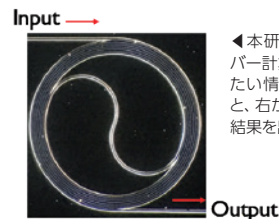


▲前列左より、学長奨励賞の牧教授、睦好客員教授、坂井学長、学長奨励賞の中田助教

5 研究 小脳を模した光ニューラルネット回路 ~超高速・省電力の光リザパー計算チップを実現~ (大学院理工学研究科 内田淳史 教授共同研究)

金沢大学の砂田哲教授と本学内田淳史教授の共同研究グループは、小脳を模した光ニューラルネットの一種であるリザパー計算を、光を用いて超高速かつ低消費電力で処理可能な新しい光回路チップを作製しました。

今後、本研究の光回路チップをさらに高度化することで、AI処理の超高速化や省エネ化が可能となり、これまで捉えることのできなかった高速現象の異常検知・認識などへの応用が期待されます。また、光通信や光計測分野をはじめとしたさまざまな分野への応用が期待されます。



◀本研究で作製した光リザパー計算回路チップ。処理したい情報を左から入力すると、右からその特徴変換した結果を出力する。

6 地域 自治体のためのSDGsプログラム 成果発表会・修了証授与式を実施しました

9月28日(火)から11月23日(火・祝)まで全9回の日程で、自治体のためのSDGsプログラムを実施しました。

本プログラムは、埼玉大学経済学部が埼玉りそな銀行SDGs推進室の協力を得て実施し、埼玉県内の自治体の参加希望者を対象として、本学教員と埼玉りそな銀行SDGs推進室長が講師となり、毎回、通常業務終了後の午後7時から9時まで主にオンラインで実施しました。

最終日となる23日(火・祝)は大宮ソニックシティ 905会議室で対面による成果発表会が行われ、先駆的な取り組みを行っている「さいたま市」と「春日部市」を含む8自治体と、オブザーバー参加の明治安田生命保険相互会社より、SDGs課題とその解決に向けたアイデア等について発表され、成果発表会は大いに盛り上がりました。成果発表会后、坂井学長より16名の受講者に対して修了証が手渡され、SDGsの課題の重要性などを含めた祝辞が述べられました。



▲プログラムを修了した受講者の皆さん

中国・大連理工大学との交流協定締結30周年記念式典を開催しました

11月5日(金)に中国・大連理工大学と埼玉大学との交流協定締結30周年記念式典がオンライン形式で開催されました。

大連理工大学との交流協定式は、1991年6月3日に執り行われ、本学の協定校としてはアメリカ・西オレゴン大学に次ぐ長い歴史をもつ協定校です。この30年の間で、学生交流を始めシンポジウム、講演、フォーラム、共同研究等、活発な交流が行われてきました。

記念式典は両大学友好交流記念ビデオの放映に始まり、埼玉大学 坂井学長、大連理工大学 羅学長補佐の代表挨拶の他、記念品の交換、記念撮影、祝辞披露等が行われ、今後の両大学の連携強化が約束されました。



▲オンライン上で握手を交わす坂井学長と羅学長補佐



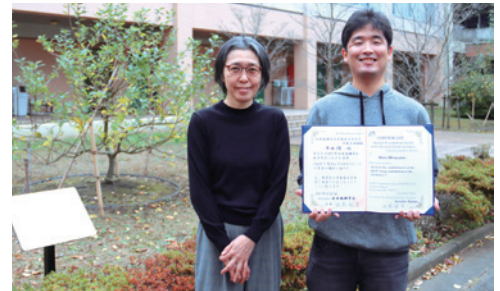
▲挨拶する坂井学長

2021年度秋季大会 日本物理学会学生優秀発表賞を受賞 (大学院理工学研究科博士前期課程2年 平山 陽さん)

大学院理工学研究科博士前期課程2年 平山陽さんが、9月に開催された日本物理学会2021年度秋季大会にて学生優秀発表賞を受賞しました。

日本物理学会は、国内外の物理学の研究者・教育者・技術者約16,000名を擁する組織で、会員の研究成果を内外に発表し、また会員の研究上の便宜をはかることを目的として、さまざまな活動を行っています。本賞は、学生の積極的な研究発表を奨励し、大会の活性化ならびに将来を担う人材育成を図るために設けられたもので、素粒子論領域では7名が受賞しました。

自身の研究を、物理学という大樹の中で、地中深くに細く根を広げるような極めて地道なものと語る平山さんは、受賞の報せを受けたときはとても驚いたと言います。さらに物理学がこの先も太く広く成長していけるよう、少しでも良質な根を張るために、研究・論文執筆に励みたいと抱負を述べました。



▲指導教員の仁尾真紀子連携准教授(理化学研究所)と平山陽さん

「捕雷役電」日本の電気事業構築に尽力された渋沢元治先生の扁額をご紹介します (工学部電気電子物理工学科)

渋沢栄一の甥で、今日まで続く電気事業法、電気工作物規定(電気設備技術基準の前身)、電気主任技術者制度の確立等、日本の電気事業の構築に尽力された故・渋沢元治先生(東京大学名誉教授)が95歳の時に揮毫された扁額が、本学工学部電気電子物理工学科会議室に掲げられています。

「捕雷役電」は、渋沢先生の学位取得のお祝いに、岳父である法学者の穂積陳重先生から贈られた扁額にある言葉で、直接的には文字通り「雷を電気役に立てる」という意味になりますが、渋沢先生によれば、科学探求の精神を現すものとのことなので、「その精神の下にさまざまな電気現象を把握し、広く社会の役に立ててほしい」と考えることができます。

本扁額を見学するために、学外からお見えになる方もいらっしゃいます。先日は、株式会社明電舎(本社・東京都品川区) 浜崎祐司取締役会長がご覧になりたいとご要望をお寄せになり、来訪されて直接ご覧いただきました。



▲捕雷役電の扁額

今年是对面でも開催! 2021年度公開講座が終了しました

本学では学外の方を対象に公開講座を開催しております。昨年度はコロナ禍もありオンラインのみでの開催や中止になった講座も多くありましたが、2021年度は対面講座も復活し、多くの方々へ埼玉大学の研究に触れていただくことができました。

来年度も魅力的な講座をお届けいたしますので、皆さまのお申込み・ご参加を心からお待ちしております。

2022年度公開講座は、随時こちらのページでご案内いたします▶



2021年度に開講された主な公開講座

| | |
|--|---|
| 埼玉大学連続市民講座 part 12 「危機の時代-持続可能な世界を目指して-」 | 開催場所: 埼玉大学 回数: 全6回 参加者: 延べ 826 名 開催方法: 対面とオンラインのハイブリッドで開催 |
| ミュージアム・カレッジ2021 「渋沢栄一とその時代-日本の実業家と文化事業・社会事業-」 | 開催場所: 埼玉県立歴史と民俗の博物館 回数: 全4回 参加者: 延べ 242 名 開催方法: 対面 |
| 2021年度埼玉大学経済経営系大学院 コミュニティ・カレッジ 「現代社会を見る眼-経済・経営研究の最前線-」 | 回数: 全4回 参加者: 延べ 378 名 開催方法: オンライン |
| 第26回埼玉大学経済学部市民講座 「変化を続ける経済社会とその今日的課題」 | 開催場所: 浦和コミュニティセンター 回数: 全8回 参加者: 延べ 205 名 開催方法: 対面 |

100円食堂で学生に元気を! CFでお寄せいただいた支援で学生の食事をサポート

長引くコロナ禍、普段と異なる環境でも学びを止めず目標に向かって頑張る埼玉大生へエールを送るべく、10月18日(月)から「100円食堂」の取り組みが行われています。この取り組みは「学生の食をサポートしたい」という坂井貴文学長の思いから始まったもので、定食や丼などの栄養とボリューム満点のメニュー(日替わり)が100円で提供されています。

100円食堂の経費530万円(約13,000食分)はクラウドファンディング(CF)で募り、期限としていた2021年12月24日を前に目標金額を達成。卒業生や地域の方、ニュースやラジオでこの取組を知った方々等、367名の方から温かいご支援をいただいていた達成となりました。

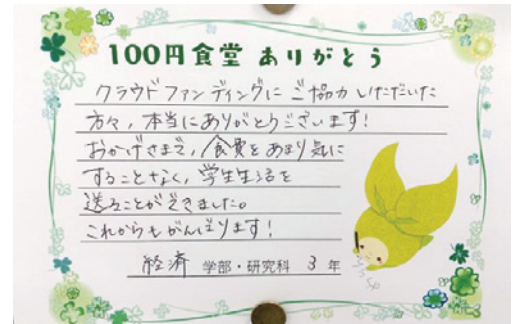
学生からは「100円食堂のおかげで食堂に行く機会が増え、友達とごはんを食べる機会も増えました」「安いのにお腹一杯に食べられる100円食堂には本当に助けられています」といった感謝の声が寄せられており、学生からご支援をいただいた方々へのメッセージが、埼玉大学生協食堂入り口のボードに掲げられています。



▲100円食堂利用には食券が必要。翌週分を食堂で配布しています。



▲100円食堂を企画した坂井学長を囲んで



▲学生からのメッセージ

埼玉大学基金室より

埼玉大学修学サポート基金のご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

今回は、埼玉大学修学サポート基金のご紹介をさせていただきます。埼玉大学修学サポート基金は、経済的な理由により修学に困難がある学生に対する支援を行うことを目的に、埼玉大学基金内に置かれる特定基金として平成28年末に設立したものです。

このたびの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本学では、家計の急変により生活が困窮し、学生生活に支障をきたす学生に対し、「埼玉大学修学サポート基金」を活用した本学独自の奨学金「埼玉大学緊急支援奨学金」を設立しました。2020年5月1日より学内外に幅広く寄附を募り、多くの皆さまよりご支援を賜り、2020年6月3日に1,604人、2021年7月9日に1,262人の学生に給付することができました。皆さまからの多大なるご支援に改めて御礼申し上げます。今後も、学生生活に支障をきたすことがないよう募集を継続して行っております。引き続き、本学へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

この埼玉大学修学サポート基金にご寄附された方は、所得税の寄附金控除を申告される際に、所得控除か税額控除のいずれかをお選びいただけます。税額控除は多くの場合において、減税効果が高いことが特徴です。詳細は下記ホームページをご覧ください。

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉大学修学サポート基金
経済的理由により修学に困難がある学生等の支援

埼玉大学修学サポート基金の用途

- 授業料・入学金減免事業
- 奨学金事業
- 海外留学支援事業
- TA・RA事業※
- 埼玉大学緊急支援奨学金

新型コロナウイルス感染拡大により生活が困窮した学生への支援

※学生の資質を向上させることを主たる目的として、学生を教育研究に係る業務(TA:ティーチング・アシスタント、RA:リサーチ・アシスタント)に雇用するために係る経費に充てられます。

◆埼玉大学基金のご報告

令和3年12月末の状況 **654,813,885円**

うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **1,325,578円**

埼玉大学基金室(広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/

